

一般財団法人天涯文化財団  
2021年度(第4期)事業計画書

自 2021年 11月 1日から 至 2022年 10月 31日

## 1. 事業実施の方針

盛田昭夫塾開館より1年以上が経過しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に閉館期間がありましたが前月末までに1,700人を超える方々にご来館いただいています。来年1月まで盛田昭夫生誕100周年事業を継続、以後も展示の入れ替えや塾生への広報活動を強化し事業の発展を図り集客促進に注力します。古文書研究事業では日本福祉大学知多半島総合研究所による古文書、典籍等の研究をさらに進め発表会を実施します。鈴溪資料館では学芸員、財団スタッフでの新倉収蔵品の調査成果を今期リニューアルした常設ステージにて展示、一般公開します。

6月に立ち上げたAkio Morita Club(AMC)プロジェクトは年間10回の配信を予定しています。またクラウドファンディングにて盛田良子著「おもてなしの心とおもてなしをうける心」の復刊を目指します。皆様のご協力ご支援何卒よろしくお願い申し上げます。

### ■今年度重点施策

1. 鈴溪資料館の整備及び古文書等の研究促進と成果発表の実施  
(盛田家菩提寺宝珠院パンフレット作成・鈴溪資料館内郵便局説明案内設置予定)
2. 盛田昭夫塾運営、イベント企画・展示の充実、集客の促進  
(生誕100年記念イベント展示の継続)
3. Akio Morita Club(AMC)プロジェクトの推進  
(盛田昭夫から多大な影響を受けた者たちの生の声を集めた映像ライブラリー  
昭夫が遺した経営哲学と人間性を浮き彫りにします。)
4. 盛田昭夫・良子に関する資料の収集及び復元  
(「おもてなしの心とおもてなしをうける心」の復刊)

## 2. 事業の実施に関する事項

- (1) 知多半島及び盛田家に由来する古文書、典籍等の研究、研究成果の公開
  - ・盛田家に残された近世初期からの古文書、典籍等を分類・整理し目録を作成する。  
(日本福祉大学知多半島総合研究所との協業により実施)
  - ・鈴溪資料館にて古文書、典籍等及びその成果を一般公開する。  
(常設展示に加えテーマごとの企画展示を随時開催、年1回愛知県内にて発表会を実施)
  - ・インターネット、SNSを活用し研究成果を世界に発信する。  
(国際空港隣接の常滑が海外からの文化・民族研究者が集まる場になることを目的とする)
- (2) 盛田昭夫顕彰事業
  - ・盛田昭夫塾を開館し、盛田昭夫に関する資料の収集、研究を行い、その成果を一般公開する。
  - ・盛田昭夫の残した文書、映像、品々、盛田昭夫に影響を及ぼした人々に関連するセミナー及びワークショップを行う。

(盛田家15代当主に生まれながらソニー創業者となった盛田昭夫の生き様に触れられる「盛田昭夫塾」を開館。見るだけでなく「学べる場所」として未来人のパワースポットとなることを目指す)